

各 位

住所 東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号
 会社名 GMO インターネットグループ株式会社
 代表者 代表取締役グループ代表
 会長兼社長執行役員・CEO
 熊谷 正寿
 (コード番号 9449 東証プライム)
 問い合わせ先 取締役 グループ副社長執行役員・CFO
 グループ代表補佐 グループ管理部門統括
 安田 昌史
 TEL 03-5456-2555(代)
 URL <https://www.gmo.jp>

GMO インターネットグループにおけるマテリアリティ(重要課題)特定のお知らせ

当社は、持続可能な社会の実現と中長期的な企業価値向上に向けて、当社グループとして取り組むべき重要課題(マテリアリティ)を特定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. マテリアリティ特定背景

GMO インターネットグループは「すべての人にインターネット」をコーポレートキャッチとして掲げ、創業以来一貫してインターネットのインフラ、サービス・インフラという「なくてはならない」「なくなる」サービスを提供してまいりました。

この「すべての人にインターネット」の実現に向け、企業グループとしてのありたい姿を明確化するとともに、そのありたい姿を具現化するために取り組むべき重要課題(マテリアリティ)を特定しました。

2. ありたい姿

コーポレートキャッチである「すべての人にインターネット」を核に、GMO インターネットグループの夢・ビジョン・フィロソフィーを掲げた「スピリットベンチャー宣言」と2051年までを見据えた定量的目標である「55カ年計画」を軸として、企業グループとして実現したい姿を、「No.1 サービス」を提供することで、お客様の「笑顔」「感動」を創造し、なくてはならない企業グループとなる」と定義しました。

3. 特定したマテリアリティ

「ありたい姿」を具現化するために取り組むべきマテリアリティを次の6つに特定しました。

分類	マテリアリティ	意味合い
事業を通じた社会課題解決	1.挑戦 — No.1 サービスへのこだわり	インターネット産業で圧倒的No.1のサービスを、自社開発・自社運用で提供する
	2.安全 — お客様の笑顔を守る責任	安心・安全なインターネットインフラの提供で、お客様の笑顔を守る
	3.環境 — 事業活動による社会課題の解決	地球環境・社会・人々の幸福に貢献する

経営基盤の強化	4.人財 — チャレンジを続け、共に成長できる集団	パートナーひとりひとりが活躍できる環境が、No.1 サービスを生み出す(※)
	5.信頼 — ステークホルダーの笑顔を最大化	かかわるすべての方との対話を通じて、ファンを増やす
	6.ガバナンス — 100年単位で継続する企業グループ	持続的成長を実現するための強固な体制を作る

※当社グループでは従業員のことを「パートナー」と呼称しています。

当社グループにおけるマテリアリティの詳細は、当社のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.gmo.jp/csr/materiality/>

以上